

投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局港湾課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	港湾課長 芝原 平 (平井 住夫)	内線	4440 (4452)
------	-------------	---------------------	----------------------	----	----------------

事業種目	海岸事業	事業名	事業区間	総事業費	約43億円
		高潮対策事業	姫路港海岸 飾磨地区	内用地補償費	-
所在地				事業採択 予定年度	着工予定 年 度
姫路市飾磨区宮				H 1 6	H 1 6
事業目的				事業内容	
<p>当地区周辺は背後地盤が低く、高潮浸水被害から住民の生命や財産を守り、安心して生活できる環境を確保するため、防潮護岸と排水機場により、高潮対策を行っている。</p> <p>しかし、昭和50年に完成した当排水機場は床や壁等の亀裂及び設備の老朽化により著しく信頼性が低下しているため、施設の更新を行う必要がある。</p> <p>また、更新にあたっては、資産集積箇所であり、市街地特有の急激な出水にも対応するため、排水機場と関連する水門を一元的に監視運転出来る機能の高度化を図る。</p>				排水施設（改良） 1箇所(Q=18.6m ³ /s) 水門（改良） 2基	
評価視点					
(1)必要性		<ul style="list-style-type: none"> ・当排水機場は昭和50年に完成したが、既に約30年が経過し、基礎の沈下などから床や壁等に多数の亀裂や過去にポンプ軸の変位も生じ、さらに電気設備も老朽化が進み、著しく信頼性が低下しており、早期更新が求められている。 ・排水施設等の更新により、信頼性向上や水門の遠隔操作・監視により、高潮時の内水排除の迅速性、確実性、ひいては安全性が高まる。 (想定浸水区域約176ha・想定浸水家屋約1,486戸) ・当地区は、臨海部特有の工場や住宅が密集しており、これらの整備により安全で安心な暮らしを確保する。 ・地元関係者から早期整備の要望あり。 			
(2)有効性・効率性		<ul style="list-style-type: none"> ・費用便益分析比 B / C = 1 8 . 2 ・整備に際して、新たな用地を求めて建設するのではなく、現施設の機能を保持しながら現位置で整備を行うため、効率的な事業執行が可能。 ・事業執行環境上の問題点は特にない。 			
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> ・主ポンプの動力を現在のディーゼルエンジンからガスタービンエンジンに変更することで、排出ガスの清浄化及び、振動・騒音の低減を図るとともに周辺景観との調和に配慮した整備を行う。 			
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> ・当地区は工場や住宅が密集しており、施設の機能が損なわれた場合、甚大な浸水被害が発生するおそれがあり、早急に改良整備を行う必要がある。 			